

**2025年3月期 第2四半期**  
**(2024年度 中間期)**  
**決算ハイライト**



**りそなホールディングス**

**2024年11月12日**

# 2025年3月期中間期を振り返って

通期目標比進捗率\*1 69.2%

コア業務純益\*2

1,302億円

(前同比+132億円)

親会社株主に帰属する中間純利益

1,142億円

(前同比+317億円)

業績目標 上方修正

1,650億円 ⇒ 1,750億円

株主資本ROE:7.7%

(ご参考 東証基準ROE:6.3%)

MB統合費用除きでは1,900億円水準

株主還元 拡充

自己株式取得枠設定

上限 200億円

25/3期 総還元性向(見込) 53.3%\*3

\*1. 25/3期 期初業績目標1,650億円に対する親会社株主に帰属する中間純利益の進捗率

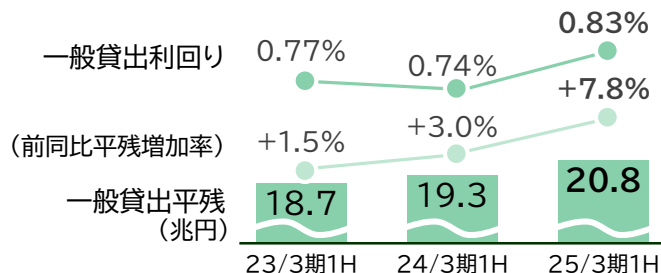
\*2. 投資信託解約損益を除くコア業務純益(実質業務純益-債券関係損益(現物)) \*3. 25/3期 修正後業績目標ベース

# 双発によるトップライン拡大とコストコントロール

## 双発(資金利益+フィー収益)によりトップラインを拡大

**資金利益** 前同比+241億円 (1Q:+80 → 2Q:+160)

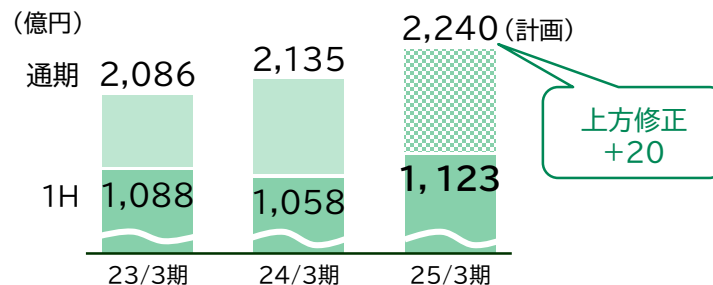
- 国内預貸金利益\*1：前同比+65億円、法人貸出(一般貸出)が牽引



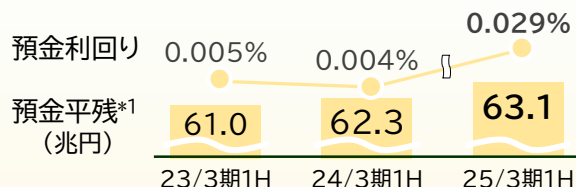
- 円債利息等：前同比+36億円 (1Q:+16 → 2Q:+19)
- 日銀預け金利息：前同比+77億円 (1Q:+12 → 2Q:+65)

**フィー収益** 前同比+64億円(+6.0%)、中間期の過去最高益

- AUM(同+31億円、+12.3%)、決済(同+14億円、+3.8%)、法人ソリューション(同+13億円、+11.6%)、等が牽引



### 強固なリテール預金基盤が下支え



### リアルとデジタル双方向からのアプローチ

- 家計・商流に寄り添ったソリューション
  - アプリDL数\*2:1,023万DL
  - 決済分野における戦略的パートナーとの価値共創

## 脱デフレ環境において、コストコントロールを継続

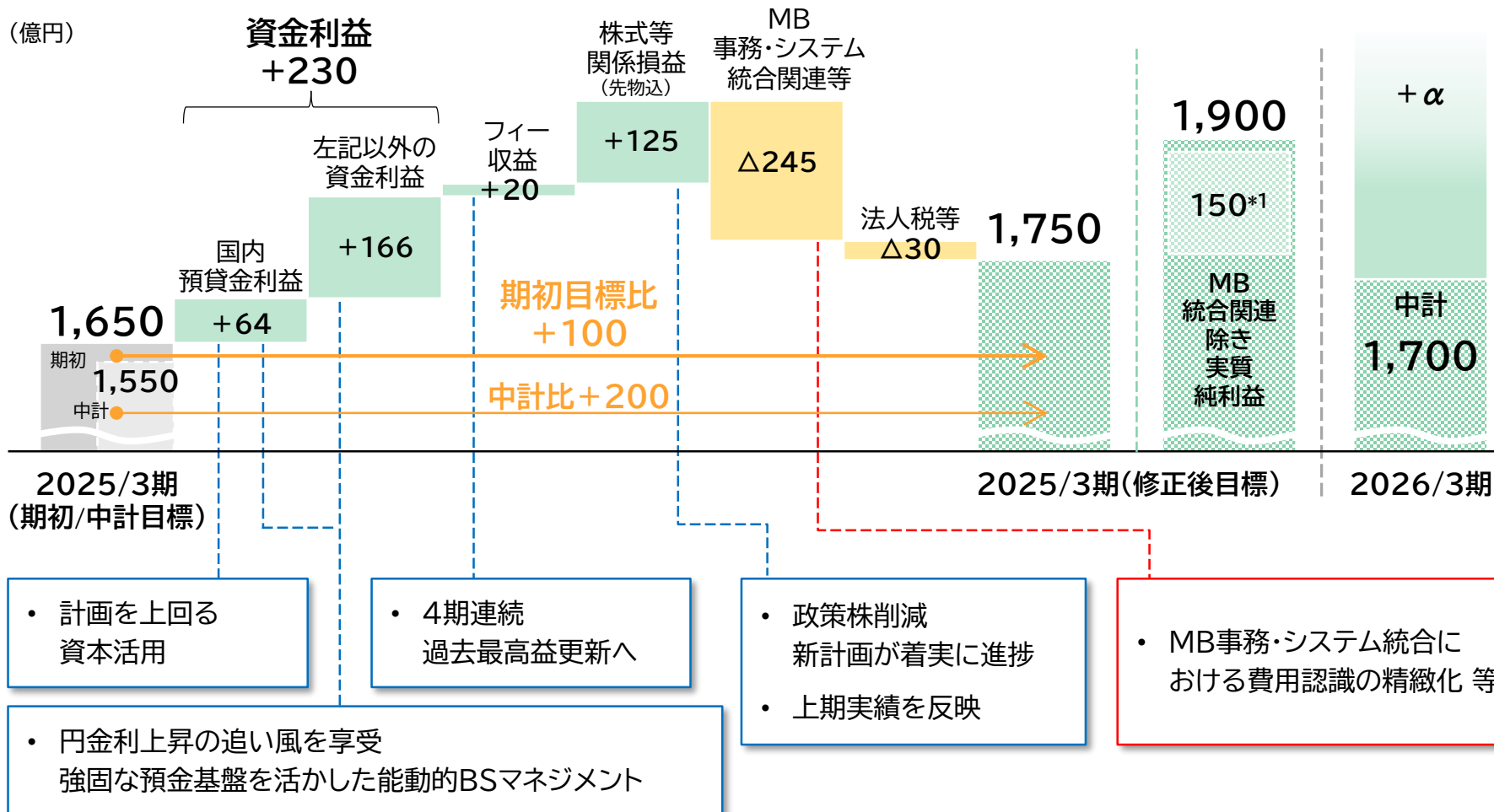
### 経費

- 人財・IT投資を拡充するなかで、経費率は改善  
24/3期1H:65.7% ⇒ 25/3期1H:63.9%

### 与信費用

- 通期計画(400億円)比費消率:17.1%  
外部環境変化を注視し、予兆管理の強化を継続

期初目標比+100億円、中計比+200億円 への上方修正  
 MB統合費用除きで、1,900億円水準を目指す



\*1. 25/3期MB統合関連費用(税後ベース)△150億円

# 株主還元の拡充

## 株主還元方針

- ◆ 健全性の維持と成長投資の機会を考慮しつつ拡充
- ◆ 安定配当を継続しつつ、総還元性向「50%程度」を目指す

### 2025年3月期における還元アクション

<上期(24/5月公表)>

1株当たり年間  
1円の増配予想

自己株取得  
約200億円  
(6月11日までに取得、  
取得全株式消却済)

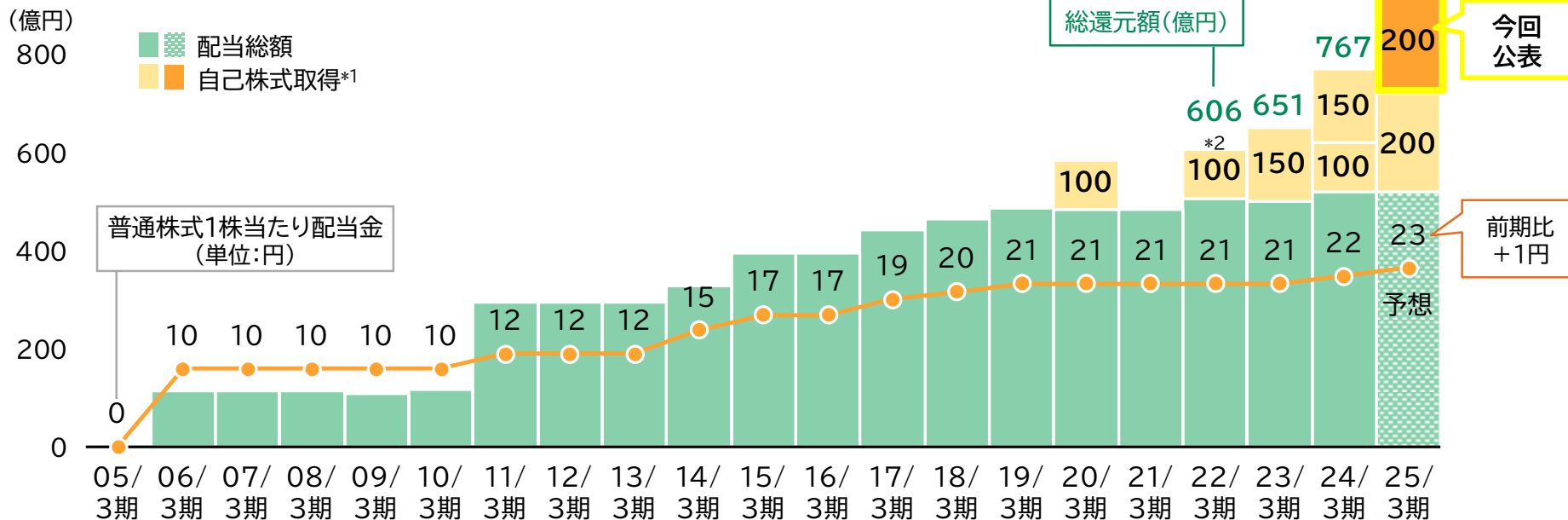


<下期(24/11月公表)>

自己株取得枠設定  
上限 200億円  
(取得株式は全て消却予定)

総還元性向(見込)  
53.3%

### 【株主還元の推移】



\*1. 自己株式取得額は億円未満を四捨五入

\*2. 2021/5~6月に、KMFG完全子会社化に伴うEPS希薄化影響中立化のため、409億円(8,800万株)の自己株式取得を実施

# 2025年3月期中間期 決算の概要

## ■ 親会社株主に帰属する中間純利益：1,142億円

- 前同比+317億円 (+38.4%)
- 通期目標\*1比進捗率 69.2%

## ■ コア業務純益\*2：1,302億円 前同比+132億円 (+11.2%)

- コア収益\*3：833億円 前同比+39億円 (+4.9%)  
通期目標\*4比進捗率 52.0%

## ● 業務粗利益：3,451億円 前同比+320億円 (+10.2%)

- 国内預貸金利益\*5：前同比+65億円  
貸出金平残：同 +4.62%、貸出金利回り：同 +3bps  
(政府等向け貸出除き) 同 +5.22%、同 +2bps  
**貸出金平残、利回りとともに計画を上回る進捗**
- フィー収益：前同比+64億円  
**通期計画(期初)比進捗率:50.5%**
- 債券関係損益(先物込)：前同比△13億円

## ● 経費：△2,207億円 前同比△149億円(費用増加) トップライン増強に資する戦略投資拡大も、経費率は改善

## ■ 与信費用：△68億円 前同比+34億円(費用減少)

**費消率:17.1% 大口先ランクアップ等が主因**

## ■ 通期業績目標:親会社株主に帰属する当期純利益を1,750億円 (期初目標比+100億円)へ上方修正

## ■ 配当予想(年間23円、前期比+1円)変更無し

## ■ 自己株式取得枠設定(上限200億円)公表

HD連結(億円)	2025/3期 中間期 (a)	前同比		通期目標*1 比進捗率 (d)	
		(b)	増減率 (c)		
親会社株主に帰属する 中間純利益	(1)	1,142	+317	+38.4%	69.2%
1株当たり中間純利益(EPS、円)	(2)	49.30	+14.24	+40.6%	
1株当たり純資産(BPS、円)	(3)	1,199.98	+97.49	+8.8%	
株主資本ROE	(4)	10.0%	+2.4%		
東証基準ROE	(5)	8.2%	+1.8%		
業務粗利益	(6)	3,451	+320	+10.2%	
資金利益	(7)	2,290	+241		
うち国内預貸金利益 *5	(8)	1,713	+65		
うち円債利息等 *6	(9)	180	+36		
フィー収益	(10)	1,123	+64		
フィー収益比率	(11)	32.5%	△1.2%		
信託報酬	(12)	128	△1		
役員取引等利益	(13)	994	+66		
その他業務粗利益	(14)	37	+15		
うち債券関係損益(先物込)	(15)	△88	△13		
経費(除く銀行臨時処理分)	(16)	△2,207	△149	△7.2%	
経費率	(17)	63.9%	△1.7%		
実質業務純益	(18)	1,248	+172	+16.0%	
コア業務純益 *2	(19)	1,302	+132	+11.2%	
コア収益 *3	(20)	833	+39	+4.9%	
株式等関係損益(先物込)	(21)	460	+240		
与信費用	(22)	△68	+34		
その他の臨時・特別損益	(23)	△54	△2		
税金等調整前 中間純利益	(24)	1,585	+445	+39.1%	
法人税等合計	(25)	△432	△120		
非支配株主に帰属する 中間純利益	(26)	△10	△8		

\*1. 25/3期 期初業績目標1,650億円 \*2. 投資信託解約損益を除くコア業務純益(実質業務純益-債券関係損益(現物))

\*3. 国内預貸金利益+円債利息等+フィー収益+経費、リそなリースの経費(△22億円)を除く実質ベース

\*4. 25/3期 期初コア収益(実質ベース)目標1,600億円 \*5. 銀行合算、銀行勘定(譲渡性預金を含む)

\*6. 円債利息・金利スワップ収益

# 2025年3月期中間期 損益内訳

(億円)	HD連結		銀行合算		りそな銀行		埼玉りそな銀行		関西みらい銀行		みなと銀行		連単差 (a)-(c)
	(a)	前同比 (b)	(c)	前同比 (d)	(e)	前同比 (f)	(g)	前同比 (h)	(i)	前同比 (j)	(k)	前同比 (l)	
業務粗利益 (1)	3,451	+320	3,111	+258	1,835	+243	611	+24	453	△12	211	+3	340
資金利益 (2)	2,290	+241	2,219	+202	1,221	+168	442	+30	380	△14	174	+17	71
うち国内預貸金利益 (3)	1,713	+65	1,713	+65	922	+67	323	△4	335	△3	132	+5	
うち円債利息等 (4)	180	+36	180	+36	95	+6	51	+17	18	+7	14	+4	
うち投資信託解約損益 (5)	4	△6	4	△6	3	+4	*1 -	△0	1	△8	△0	△2	-
フィー収益 (6)	1,123	+64	874	+52	574	+35	171	+4	69	+4	58	+8	249
フィー収益比率 (7)	32.5%	△1.2%	28.0%	△0.7%	31.3%	△2.5%	28.1%	△0.4%	15.2%	+1.3%	27.6%	+3.5%	
信託報酬 (8)	128	△1	128	△1	128	△1	0	△0	0	△0	-	-	△0
役務取引等利益 (9)	994	+66	745	+54	446	+37	171	+4	69	+4	58	+8	249
その他業務粗利益 (10)	37	+15	18	+3	39	+39	△2	△11	3	△2	△21	△22	19
うち債券関係損益(先物込) (11)	△88	△13	△88	△13	△48	+19	*1 △17	△14	△0	+0	△22	△18	△0
経費(除く銀行臨時処理分) (12)	△2,207	△149	△2,025	△116	△1,131	△80	△403	△25	*2 △323	△5	△166	△5	△181
経費率 (13)	63.9%	△1.7%	65.1%	△1.8%	61.6%	△4.4%	66.1%	+1.5%	71.3%	+3.0%	78.9%	+1.5%	
実質業務純益 (14)	1,248	+172	1,085	+142	703	+163	207	△1	129	△17	44	△2	162
コア業務純益(除く投資信託解約損益)*3 (15)	1,302	+132	1,140	+101	719	+91	225	+5	129	△10	65	+15	162
コア収益 (16)	*4 833	+39	742	+37	461	+29	142	△7	99	+3	39	+12	*4 90
株式等関係損益(先物込) (17)	460	+240	469	+245	259	+86	86	+39	8	+8	114	+111	△8
与信費用 (18)	△68	+34	△76	+14	△89	△20	△8	△6	23	+40	△1	+1	8
その他の臨時・特別損益 (19)	△54	△2	△48	+4	△29	+2	△8	+9	△12	△10	2	+3	△6
税引前(税金等調整前)中間純利益 (20)	1,585	+445	1,429	+406	844	+231	276	+40	149	+20	159	+113	156
法人税等合計 (21)	△432	△120	△388	△114	△241	△71	△78	△9	△21	△1	△47	△32	
非支配株主に帰属する中間純利益 (22)	△10	△8											
(親会社株主に帰属する)中間純利益 (23)	1,142	+317	1,040	+291	602	+160	197	+30	128	+19	112	+80	

\*1. 以下の投資信託解約損益は、投資信託分配金と通算してマイナスとなるため、当該金額を債券関係損益に計上

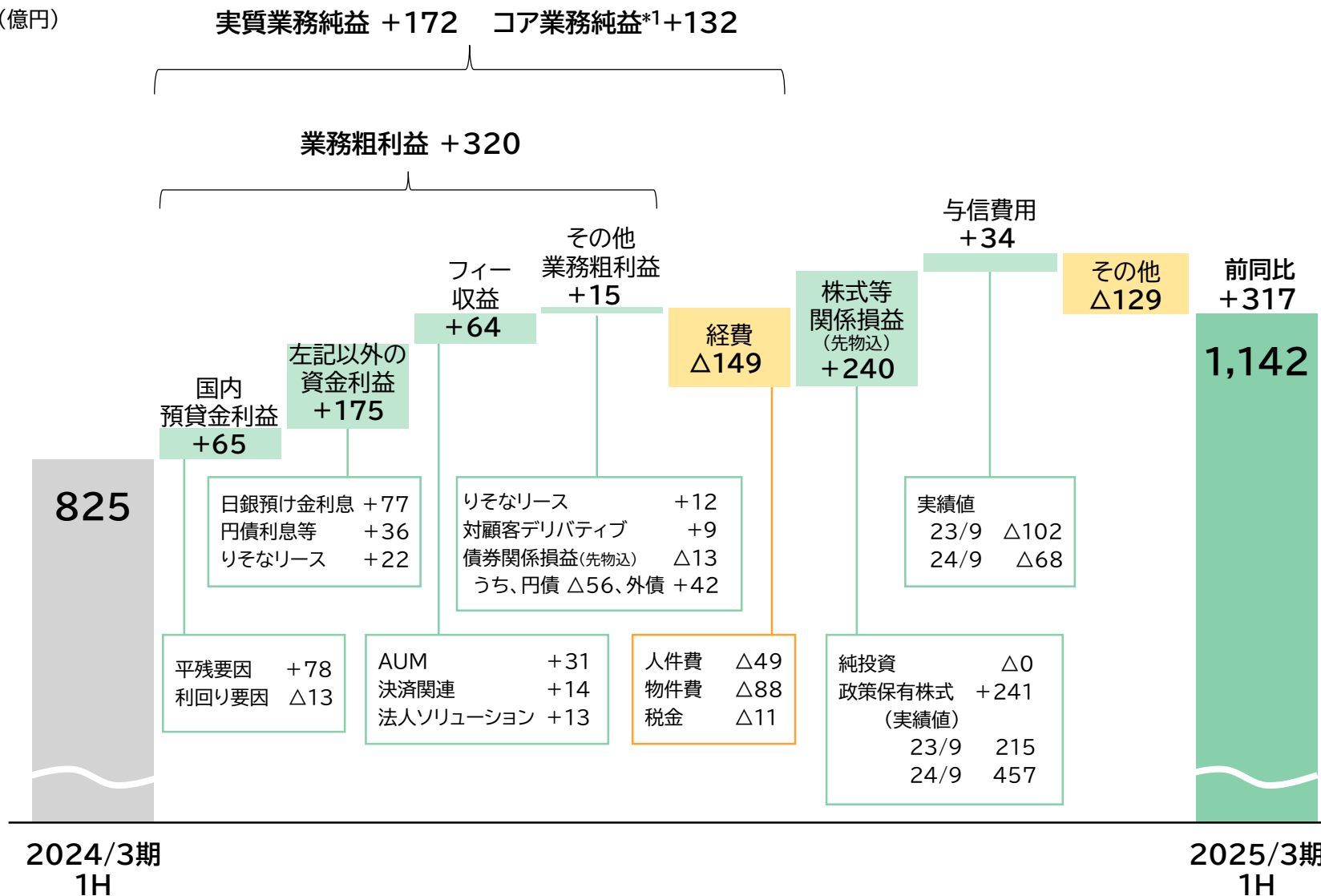
25/3期1H(SR): 投信解約損益△6億円、投信分配金+6億円 → ネット△0億円

\*2. 旧びわこ銀行のれん償却額(△3億円)を除く \*3. 実質業務純益-投資信託解約損益-債券関係損益(現物)

\*4. りそなリースの経費(△22億円)を除く実質ベース

# 親会社株主に帰属する中間純利益の前同比増減要因

(億円)



\*1. 投資信託解約損益を除くコア業務純益(実質業務純益 - 債券関係損益(現物))



# 貸出金・預金の平残・利回り(国内)

銀行合算

## 貸出金・預金の平残、利回り、利回り差

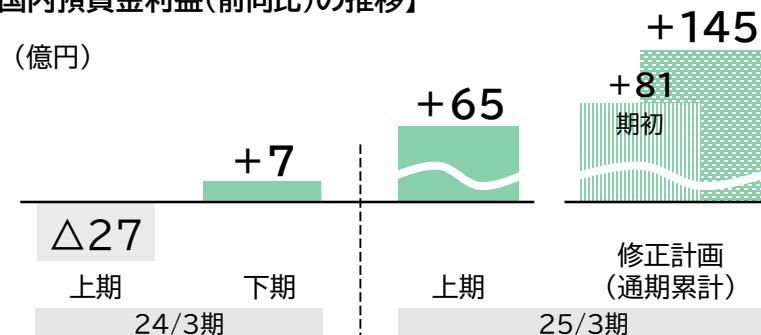
- 25/3期 1H(前同比):貸出金平残+4.62%、利回り+3bps  
貸出金平残(政府等向け貸出除き)  
前同比+5.22%、利回り 同+2bps  
⇒ 25/3期(修正計画) 同+5.21%、 同+6bps

(平残: 兆円 収益・費用: 億円)		中間期		2025/3期	
		実績 (a)	前同比*3 (b)	修正計画 (c)	前期比*3 (d)
貸出金	平残 (1)	42.80	+4.62%	43.01	+4.15%
	利回り (2)	0.84%	+0.03%	0.88%	+0.07%
	収益 (3)	1,807	+144	3,811	+462
政府等向け貸出除き	平残 (4)	40.70	+5.22%	41.13	+5.21%
	利回り (5)	0.88%	+0.02%	0.92%	+0.06%
コーポレート部門*1 (りそなHD向け貸出除)	平残 (6)	23.91	+6.25%	24.26	+6.33%
	利回り (7)	0.85%	+0.06%	0.90%	+0.11%
一般貸出	平残 (8)	20.84	+7.81%	21.18	+7.67%
	利回り (9)	0.83%	+0.08%	0.88%	+0.13%
コンシューマー 部門*2	平残 (10)	14.40	+1.58%	14.48	+1.74%
	利回り (11)	1.00%	△0.03%	1.03%	△0.00%
預金+NCD	平残 (12)	63.10	+1.27%	63.13	+1.18%
	利回り (13)	0.02%	+0.02%	0.05%	+0.05%
	費用 (14)	△93	△79	△345	△317
預貸金	利回り差 (15)	0.81%	+0.00%	0.83%	+0.02%
	利益 (16)	1,713	+65	3,466	+145

## 国内預貸金利益

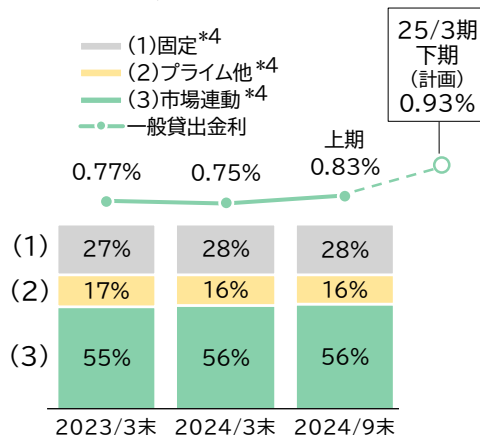
- 国内預貸金利益は24/3期下期から増加へ反転、増益幅拡大  
⇒ 25/3期(通期)計画を上方修正  
(期初:前同比+81億円 ⇒ 修正:同+145億円)

### 【国内預貸金利益(前同比)の推移】

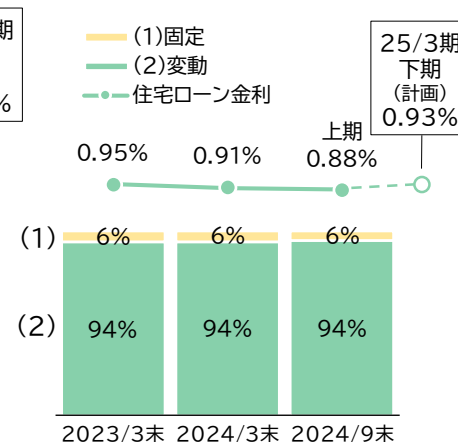


## 適用金利区分別の残高構成と平残利回り

### 【法人向け貸出】



### 【自己居住用住宅ローン】



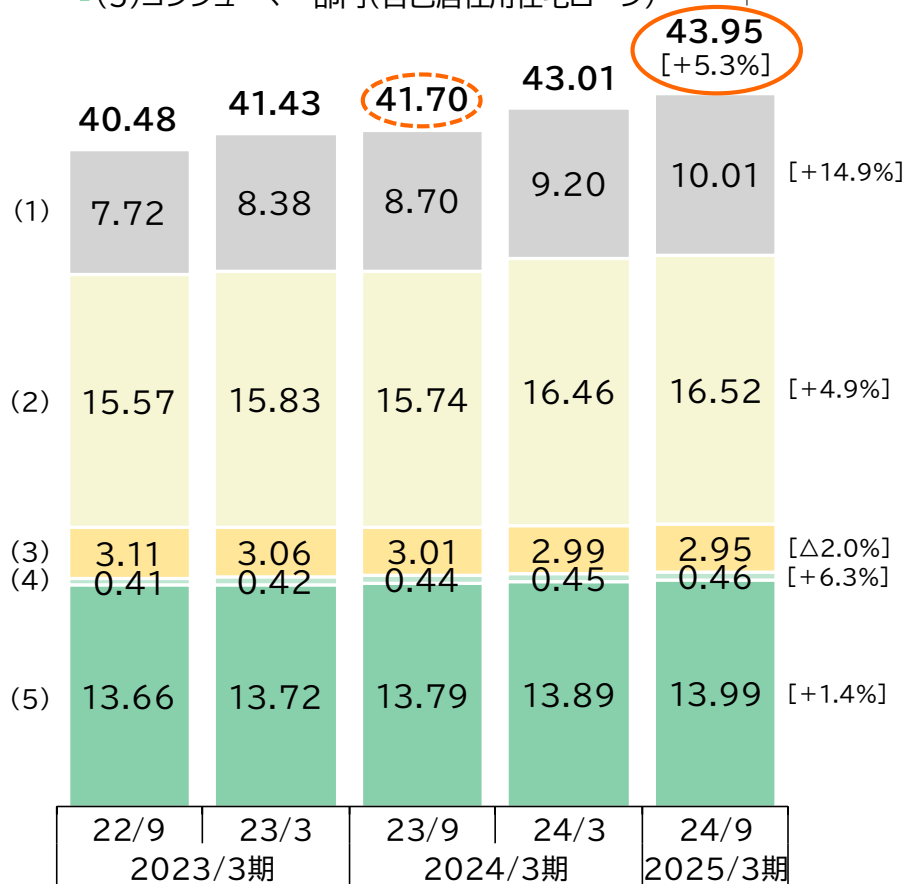
\*1. 一般貸出+アパートマンションローン、社内管理計数 \*2. 自己居住用住宅ローン+消費性ローン、社内管理計数  
\*3. 平残は増減率 \*4. コーポレート部門(アパートマンションローン除く)+公共法人等

## 貸出金未残

[兆円、[]内は前同増減率]

- (1)コーポレート部門(大企業・その他)
- (2)コーポレート部門(中小企業)
- (3)コーポレート部門(アパートマンションローン)
- (4)コンシューマー部門(消費性ローン)
- (5)コンシューマー部門(自己居住用住宅ローン)

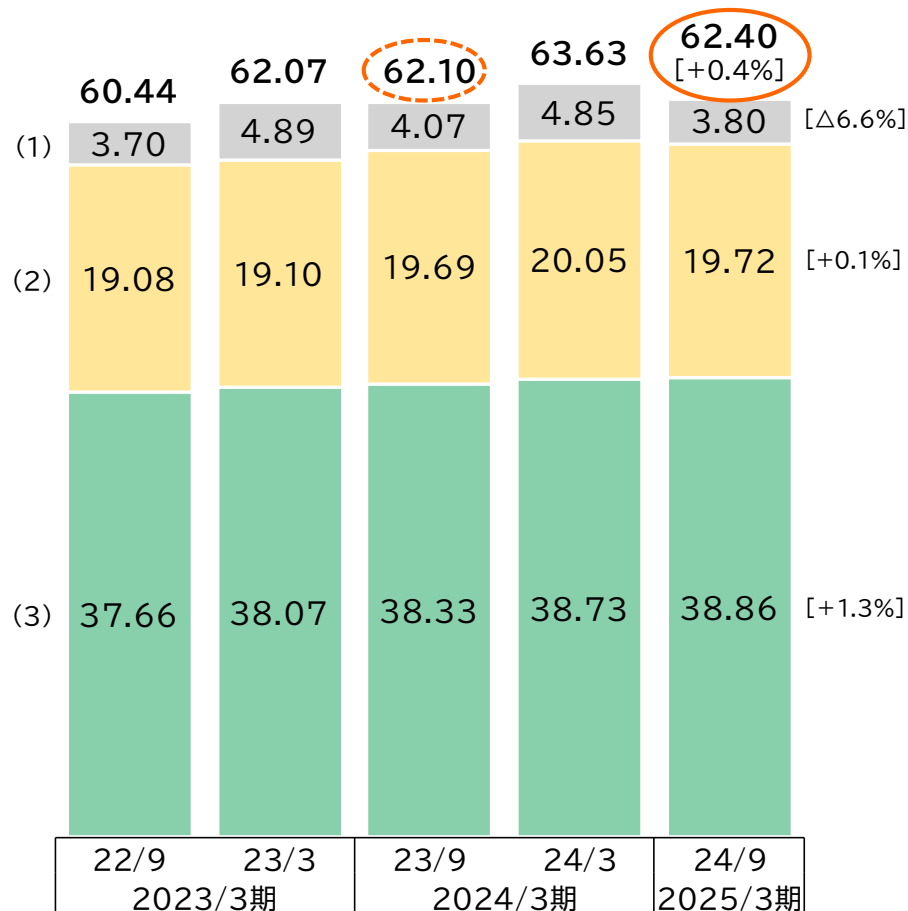
うち政府等  
(2.32兆円)  
除き+5.4%



## 預金未残

[兆円、[]内は前同増減率]

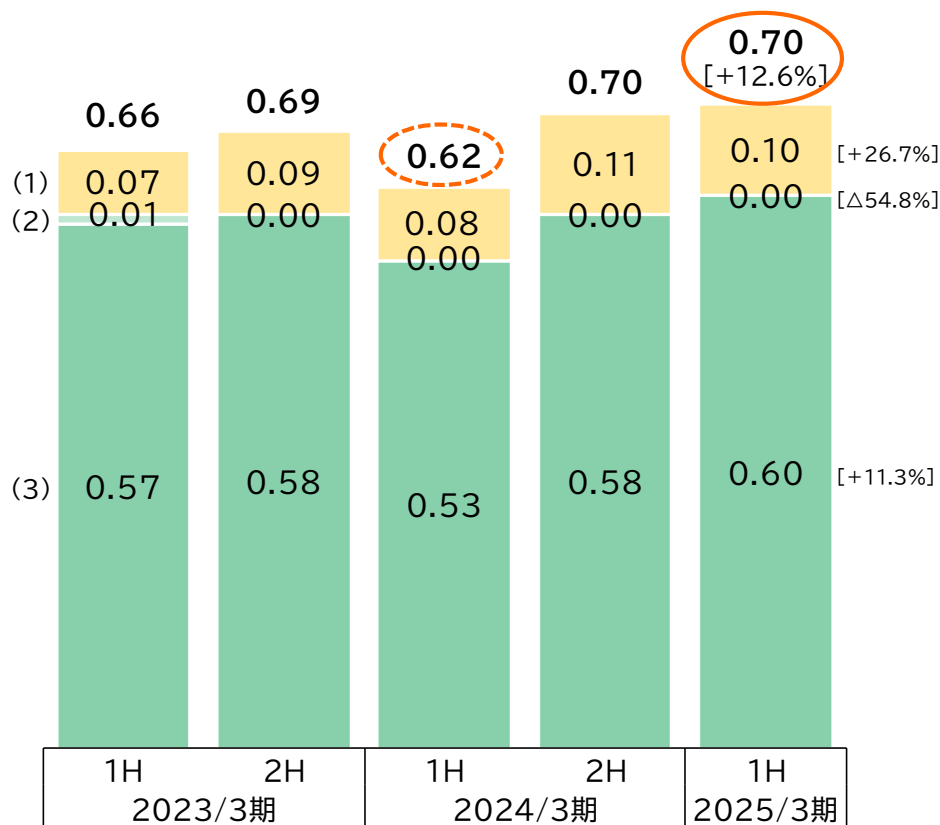
- (1)その他
- (2)法人
- (3)個人



## 住宅ローン実行額

[兆円、[]内は前同比増減率]

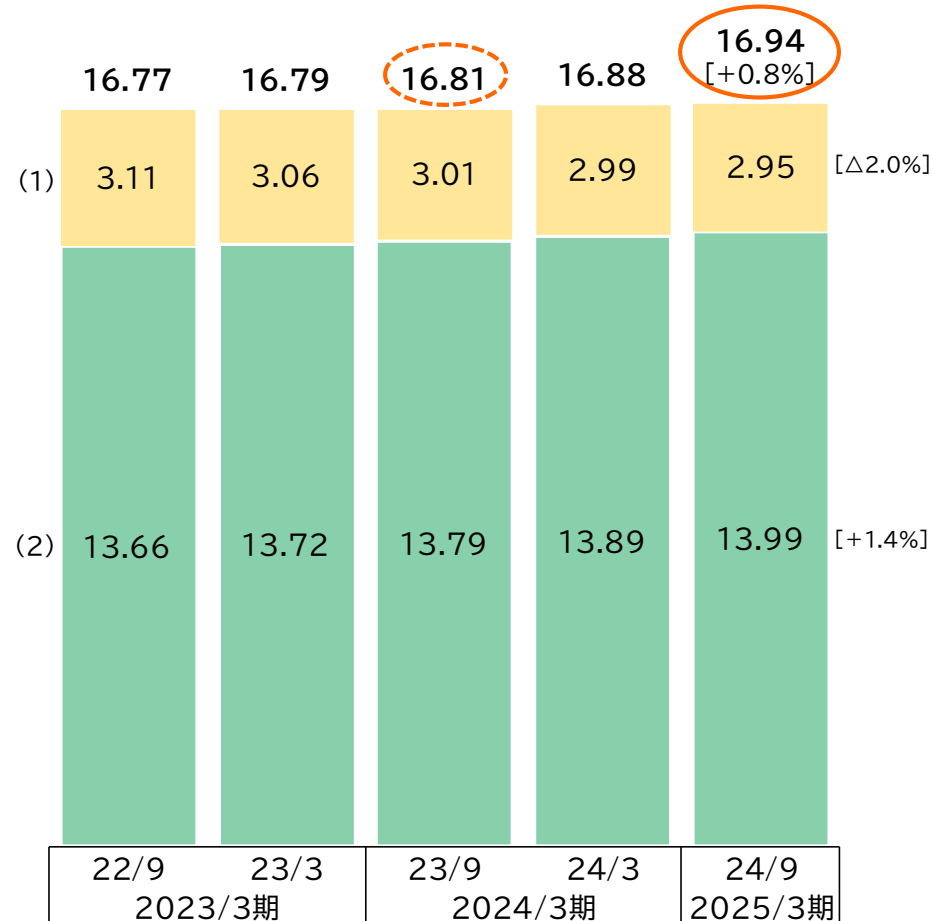
- (1) アパートマンションローン
- (2) フラット35
- (3) 自己居住用住宅ローン



## 住宅ローン未残

[兆円、[]内は前同比増減率]

- (1) アパートマンションローン
- (2) 自己居住用住宅ローン



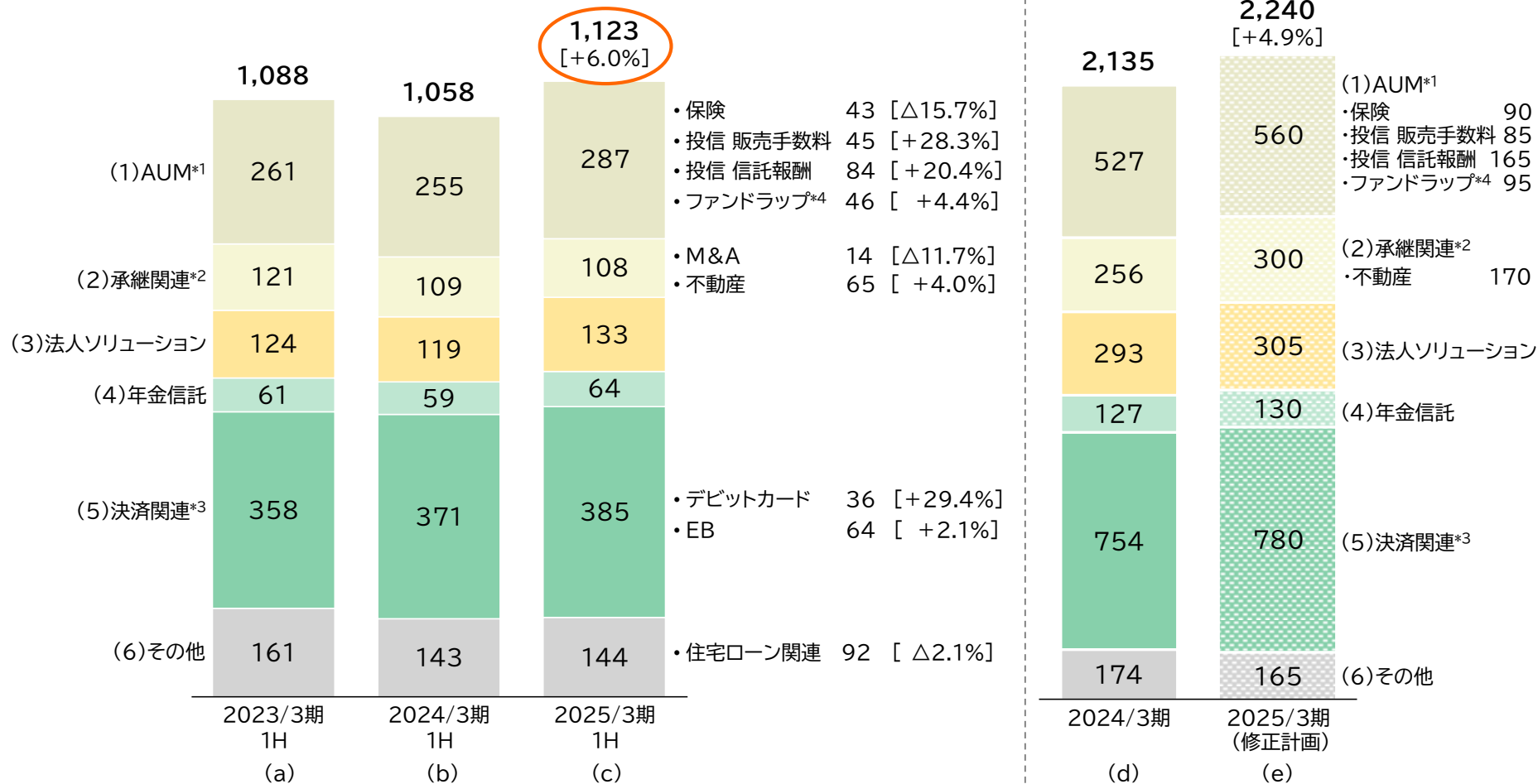
# フィー収益

■ 中間期ベース過去最高益、通期計画(期初)比進捗率:50.5%

■ AUM(前同比+31億円、+12.3%)、決済(同+14億円、+3.8%)、法人ソリューション(同+13億円、+11.6%)等が牽引

[億円、[]内は前同比増減率]

【通期実績、修正計画】



\*1. 保険、投信(販売手数料・信託報酬)、ファンドラップ、証券信託、りそなアセットマネジメントの役務利益 \*2. 承継信託、不動産、M&A  
 \*3. 内為、口振、EB、デビット等およびりそな決済サービス、りそなカードの役務利益 \*4. りそなアセットマネジメントの役務利益を含む

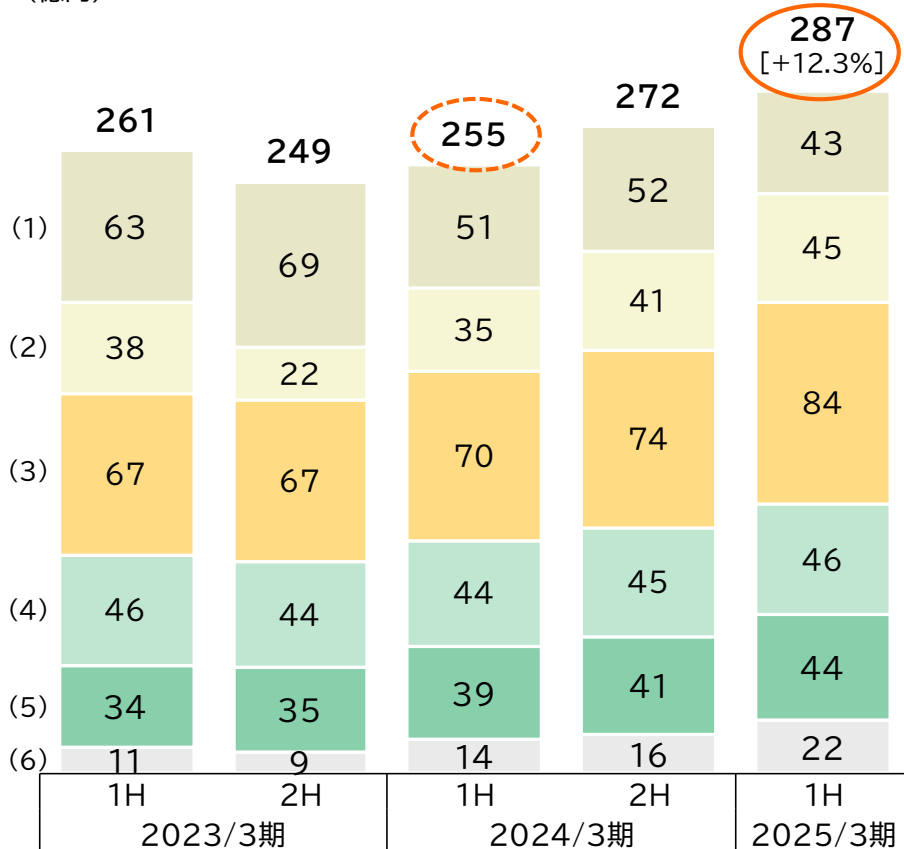
# 主要なフィービジネス① (AUM)

HD連結

## AUM収益

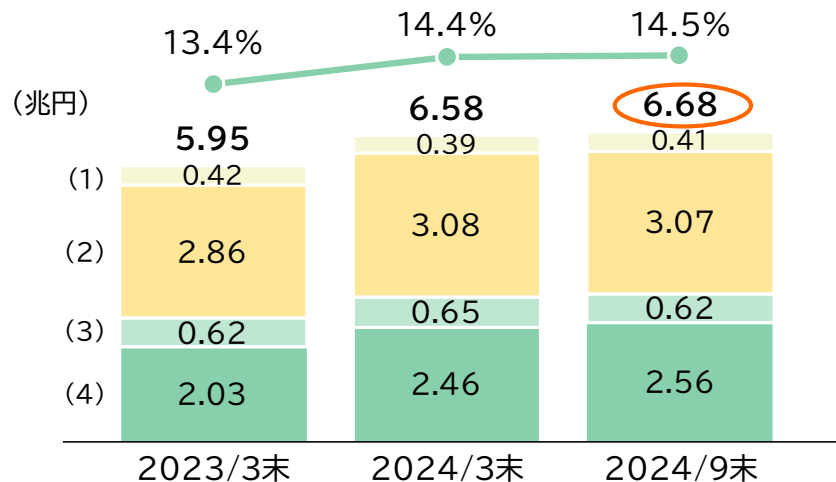
- (1) 保険
- (2) 投信 販売手数料
- (3) 投信 信託報酬
- (4) ファンドラップ
- (5) リそなアセットマネジメント
- (6) 証券信託

(億円)



## 個人向け資産形成サポート商品残高

- (1) 外貨預金、公共債等
- (2) 保険
- (3) ファンドラップ\*1
- (4) 投資信託\*1
- 資産形成サポート商品比率\*2



- FW残高\*1,3: 24/9末 7,838億円 (23/9末比+3.1%)  
うちGr外 973億円
- 投資信託・FWの増減: 24/9期 約+820億円  
● うち純流入額(販売-解約・償還): 約+1,220億円
- 投信・FW、保険利用先数:  
24/9末 101.2万先 (23/9末比+2.3万先)  
● うちNISA口座数\*4: 45.4万口座 (23/9末比+9.9%\*5)
- iDeCo加入者数\*6: 24/9末 19.8万先 (23/9末比+9.3%)
- 証券信託 総預り資産残高: 24/9末 48.0兆円

\*1. 時価ベース残高 \*2. 個人向け資産形成サポート商品残高 / (個人向け資産形成サポート商品残高 + 個人預金(円貨))

\*3. 法人込、グループ外を含む \*4. NISA、ジュニアNISA、積立NISA \*5. 集計基準見直し(24/3末~)影響調整後 \*6. iDeCo加入者 + 運用指図者

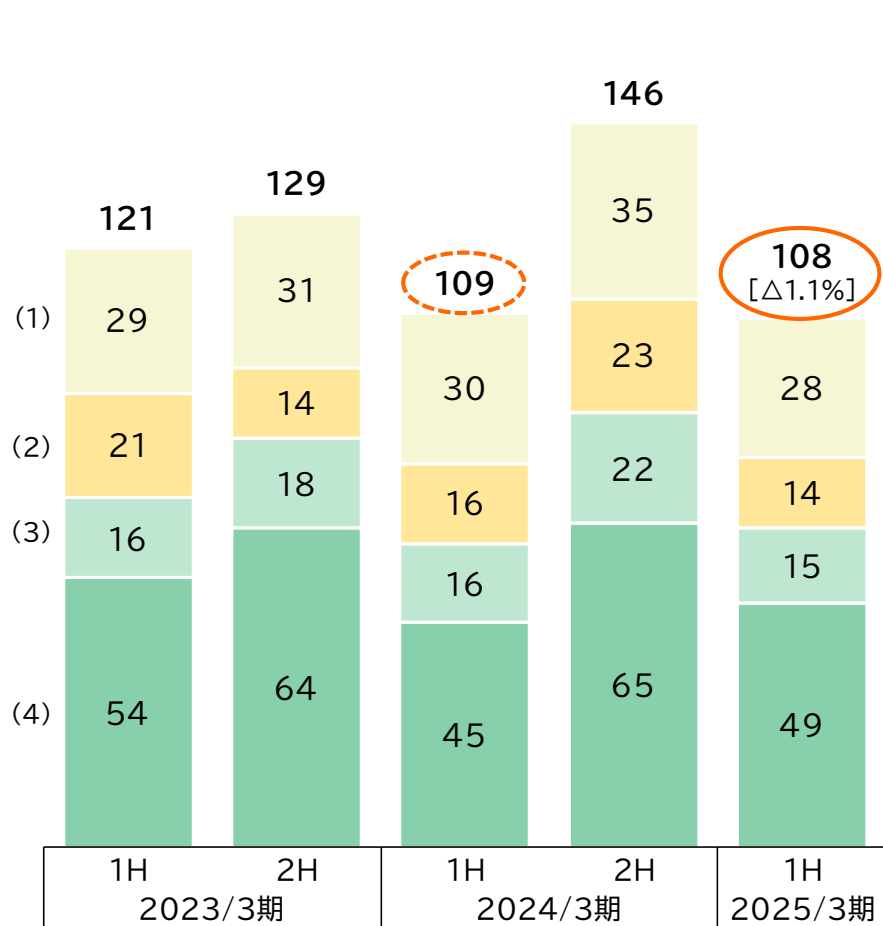
# 主要なフィービジネス② (承継・法人ソリューション・年金信託)

HD連結

## 承継関連収益

■ (1)承継信託 ■ (2)M&A ■ (3)不動産・個人 ■ (4)不動産・法人<sup>\*1</sup>

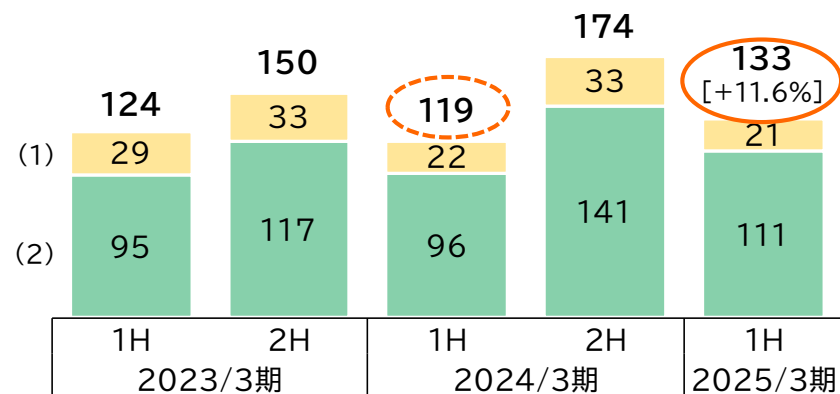
(億円)



## 法人ソリューション収益

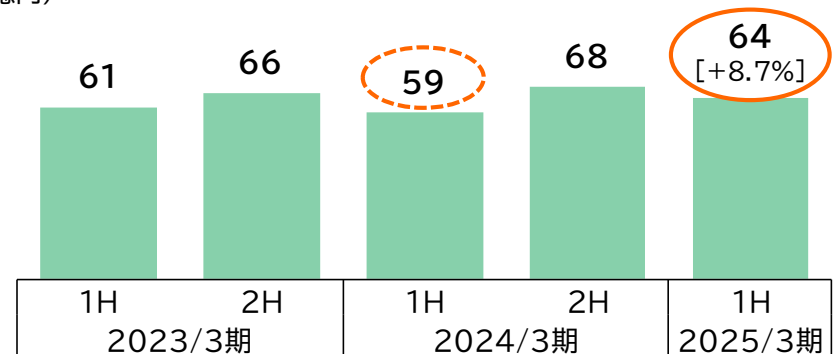
■ (1)私募債 ■ (2)コミット/シローン/コバナンツ

(億円)



## 年金信託収益

(億円)



\*1. 不動産ファンド出資関連収益除く

## 与信費用

(億円)	2023/3期 (a)	2024/3期		2025/3期	
		中間期 (b)	(c)	中間期 (d)	計画 (e)
HD連結 (1)	△159	△102	△356	△68	△400

銀行合算 (2)	△150	△91	△296	△76	△365
一般貸倒引当金 (3)	△31	34	△14	22	
個別貸倒引当金等 (4)	△119	△125	△281	△98	
新規発生 (5)	△452	△192	△408	△323	
回収・上方遷移等 (6)	332	67	127	225	

連単差 (7)	△8	△11	△60	8	△35
うち、住宅ローン保証 (8)	14	13	25	14	
うち、りそなカード (9)	△17	△10	△20	△9	

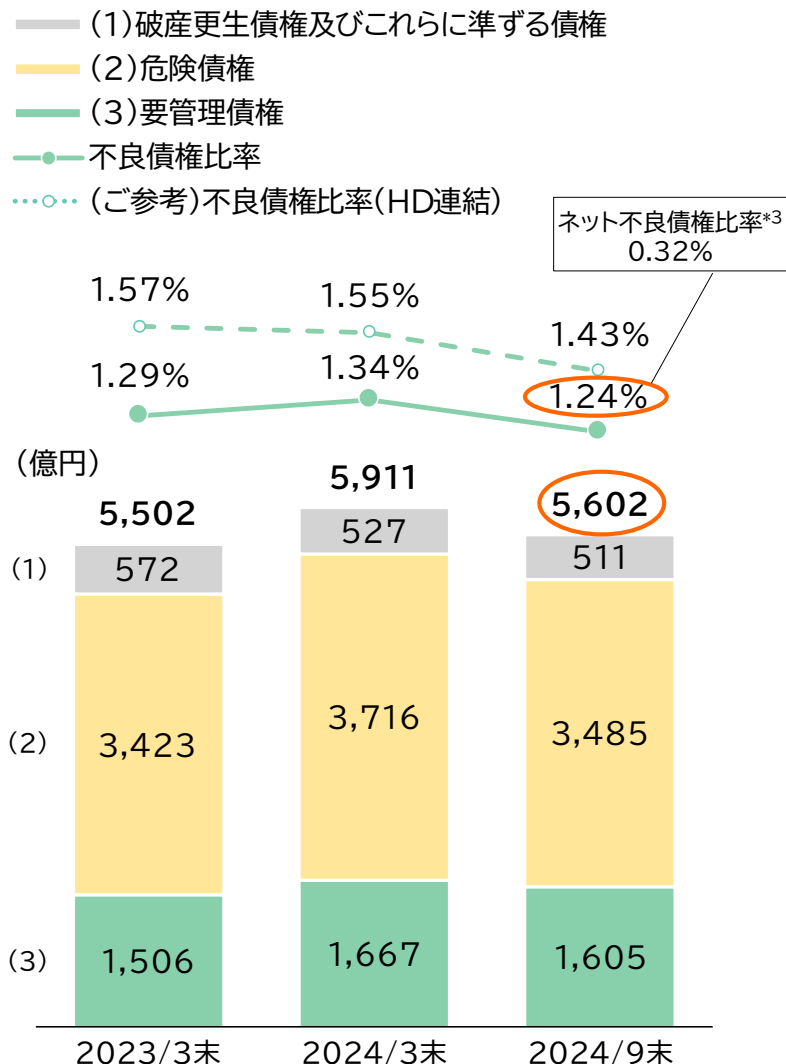
### <与信費用比率>

		(bps)				
HD連結*1 (10)	△3.9	△4.8	△8.4	△3.1	△9.1	
銀行合算*2 (11)	△3.6	△4.2	△6.8	△3.4	△8.1	

\*正の値は戻入を表す

## 不良債権残高・比率(銀行合算)

(金融再生法基準)



\*1. HD連結与信費用/(連結貸出金+連結支払承諾見返未残)(期首・期末平均)

\*2. 銀行合算与信費用/金融再生法基準与信残高(期首・期末平均) \*3. 担保/保証/引当金控除後不良債権比率

## 有価証券\*1

(億円、ヘッジ考慮前)		2023/3末	2024/3末	2024/9末	評価差額
		(a)	(b)	(c)	(d)
その他有価証券	(1)	38,868	39,488	40,704	5,838
株式	(2)	2,838	2,616	2,406	6,665
債券	(3)	24,002	22,158	25,092	△ 720
国債	(4)	6,453	5,393	9,029	△ 421
(デュレーション)	(5)	12.8年	11.9年	9.5年	-
(BPV)	(6)	△7.8	△6.0	△8.4	-
地方債・社債	(7)	17,549	16,764	16,063	△ 299
その他	(8)	12,026	14,714	13,206	△ 105
外国債券	(9)	7,215	10,021	7,969	△ 111
(デュレーション)	(10)	5.8年	5.5年	4.4年	-
(BPV)	(11)	△3.0	△4.1	△2.8	-
国内投資信託	(12)	4,741	4,669	5,174	△6
(評価差額)	(13)	4,729	6,633	5,838	
満期保有債券	(14)	38,990	46,092	48,230	△ 2,033
国債	(15)	22,782	27,370	28,824	△ 1,589

### ■ 国債(その他有価証券)(c-5・6,d-4部分)のヘッジ考慮後計数

24/9末 デュレーション:7.2年、BPV:△4.2、評価差額:△325  
(なお、外国債券は国内投資信託(ペアファンド)等にて一部ヘッジ)

## 政策保有株式\*2

### ■ 24/9期(実績)

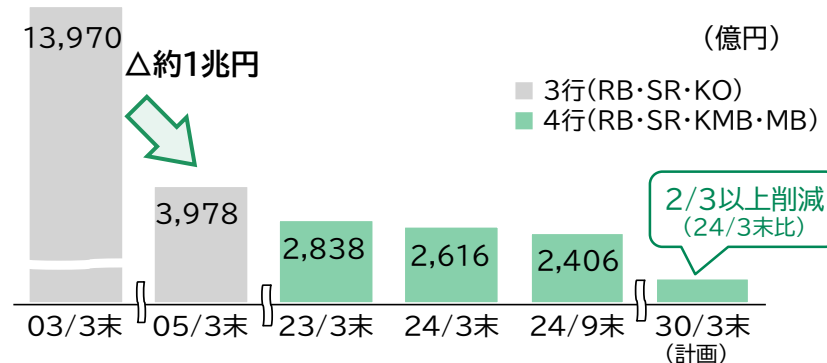
削減額(上場分・取得原価)：210億円、売却益等(同)：465億円  
(HD連結ベース：457億円)

損益分岐点株価(日経平均ベース)：6,700円程度

### ■ 削減計画(24/5月公表)の概要

- お客さまに対する新たな価値の創造/成長投資・構造改革に  
  充当可能な経営資源の創出を目的
- 削減ペースを大幅に加速
  - 30/3末までに簿価を2/3以上削減(24/3末比)
  - 連結純資産に対する時価割合を10%程度へ  
(20%水準には最速3年で到達・通過)
- 成長加速に向けた資本(3,000億円相当)の創出、活用へ
  - お客さまのこまりごと・社会課題の解決やCX実現に必要な  
  構造改革・基盤強化への取組を加速

### 【政策保有株式残高の推移】



\*1. 取得原価、市場価格のない株式等及び組合出資金を除く \*2. 「政策保有株式」は、保有目的により、①政策投資株式、②戦略投資株式に分類しており、  
①政策投資株式を残高縮減対象としています。なお、グループ銀行が保有する上場株式は、全て①政策投資株式に該当します。



■ 2024/9末の普通株式等Tier1(CET1)比率(国際統一基準・完全実施、その他有価証券評価差額金除き)は10.15%

## 自己資本比率の状況

		2024/9末	24/3末比
CET1比率(国際統一基準) (その他有価証券評価差額金除き)	完全実施 (1)	10.15%	+0.25%
(ご参考) CET1比率(国際統一基準)	完全実施 (2)	12.08%	△0.02%
	経過措置 (3)	15.38%	-
(ご参考) 自己資本比率(国内基準)	完全実施 (4)	10.52%	+0.18%
	経過措置 (5)	13.13%	+0.28%

### 【国際統一基準・完全実施】

(億円)	2024/9末	24/3末比
普通株式等Tier1資本の額 (その他有価証券評価差額金除き) [(7)-(9)] (6)	22,298	+ 712

普通株式等Tier1資本の額 (7)	26,535	+ 143
うち普通株式に係る株主資本の額 (8)	22,676	+ 680
うちその他有価証券評価差額金 (9)	4,236	△569
うち調整項目の額 (10)	△979	+ 19

リスク・アセット(完全実施)*1 (11)	219,514	+ 1,488
信用リスク (12)	171,428	△1,366
マーケット・リスク (13)	2,936	+ 267
オペレーショナル・リスク (14)	8,956	+ 324
フロア調整額 (15)	36,193	+ 2,261

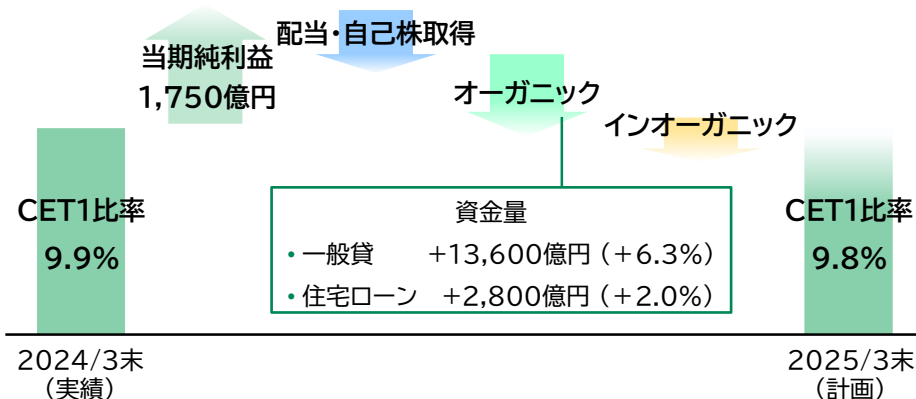
\*1. 政策保有株式の時価相当のリスク・アセットを含む

## 2025/3期中間期 CET1比率の主な増減要因

- 普通株式に係る株主資本の額 (8) +680億円
  - 親会社株主に帰属する中間純利益 +1,142億円
  - 自己株式取得(24/6月取得完了分) △200億円
  - 中間配当予定額 △267億円
- リスク・アセット/信用リスク (12) △1,366億円
  - 貸出金残高増加 +1,987億円
  - 政策保有株式 △3,087億円

## 2025/3期 CET1比率の増減要因(イメージ)

【国際統一基準・完全実施(その他有価証券評価差額金除き)】



# 2025年3月期 業績目標(2024年11月公表)

HD連結・銀行合算

## HD連結

(億円)	通期 目標	期初 目標比	前期比
親会社株主に帰属する 当期純利益 (1)	1,750	+100	+161
連単差 (2)	165	+5	+12
コア収益*1 (3)	1,685	+85	*2 +98

## 1株当たり配当

	1株当たり 配当金	前期比
配当(年間予想) (4)	23.0円	+1.0円
うち中間配当 (5)	11.5円	+0.5円

## 銀行合算/各社単体

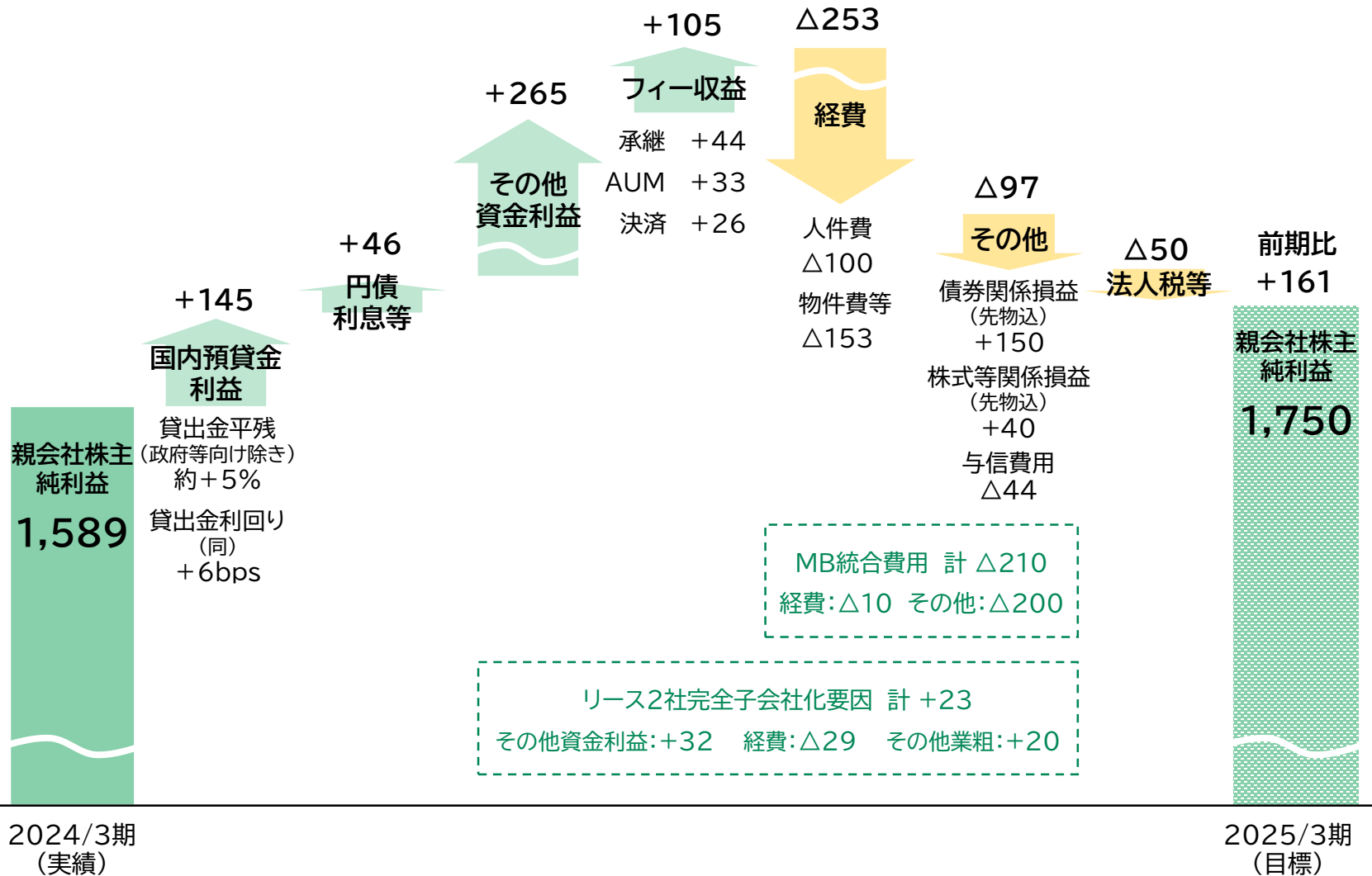
(億円)	銀行合算		RB		SR		KMB		MB	
	通期 目標	期初 目標比	通期 目標	期初 目標比	通期 目標	期初 目標比	通期 目標	期初 目標比	通期 目標	期初 目標比
業務粗利益 (6)	6,320	+240	3,720	+200	1,215	+35	950	+10	435	△5
経費 (7)	△4,060	-	△2,285	-	△795	△5	△640	-	△340	+5
実質業務純益 (8)	2,260	+240	1,435	+200	420	+30	310	+10	95	-
株式等関係損益(先物込) (9)	640	+125	430	-	90	+25	5	-	115	+100
与信費用 (10)	△365	-	△240	-	△60	-	△35	-	△30	-
税引前当期純利益 (11)	2,210	+120	1,525	+75	400	+25	220	△10	65	+30
当期純利益 (12)	1,585	+95	1,080	+50	280	+20	180	+5	45	+20

\*1. 国内預貸金利益+円債利息等+フィー収益+経費、リそなリースの経費を除く実質ベース

\*2. 24/3期実質ベース(合同金信影響+24億円除く)との対比

# (ご参考)2025年3月期 業績目標の組み立て(前期比増減)

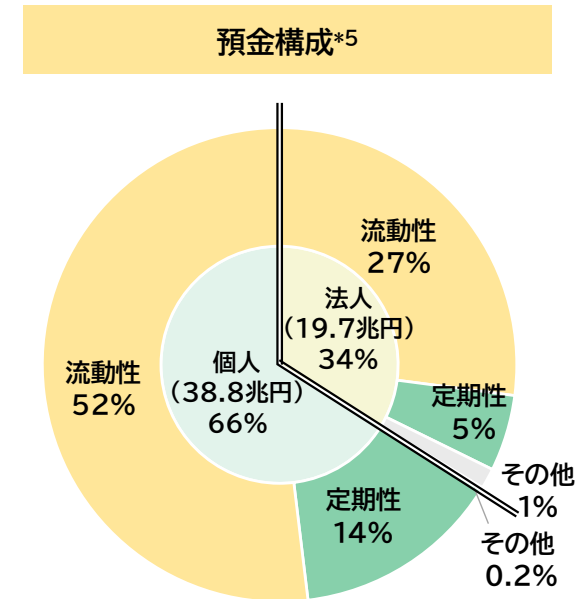
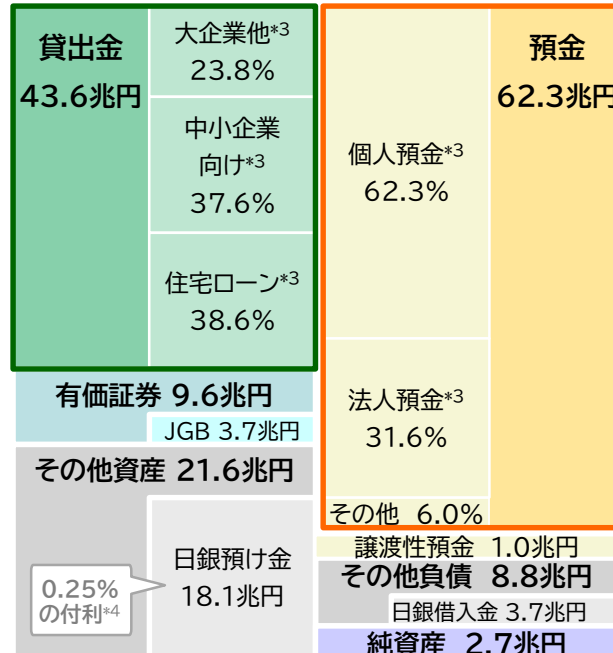
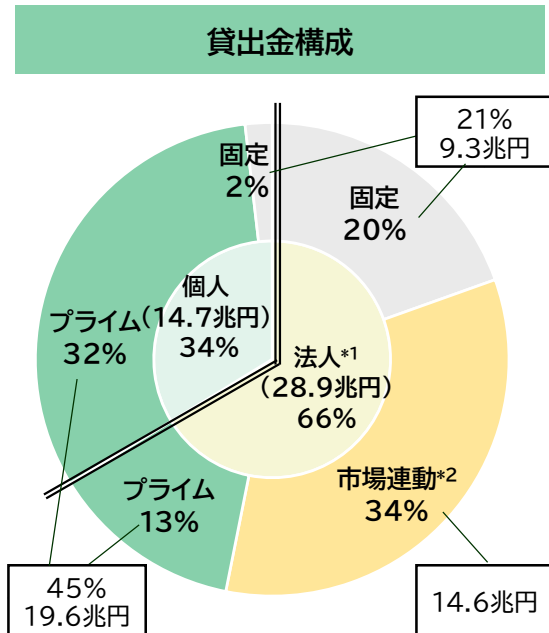
(億円、増減は概数)



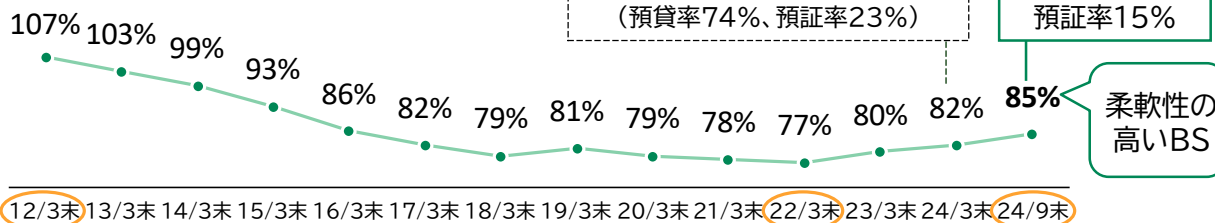
# (ご参考)円金利上昇を見据えたBSマネジメント

預貸金ビジネス再興、安定利収の獲得に資する有価証券ポートフォリオ構築を通じ、ROAを反転・向上

2024年9月末  
総資産75.0兆円



## 【預貸率+預証率の推移\*6】



## ■ 金融緩和環境で低下したROAは反転基調



\*1. アパートマンションローンを含む \*2. 1年以内に期日到来する固定金利(スプレッド)貸出を含む \*3. 銀行合算 \*4. 超過準備部分が対象  
\*5. 国内個人+国内法人 \*6. 議渡性預金除き \*7. 3メガバンクG、連結総資産上位10地銀G

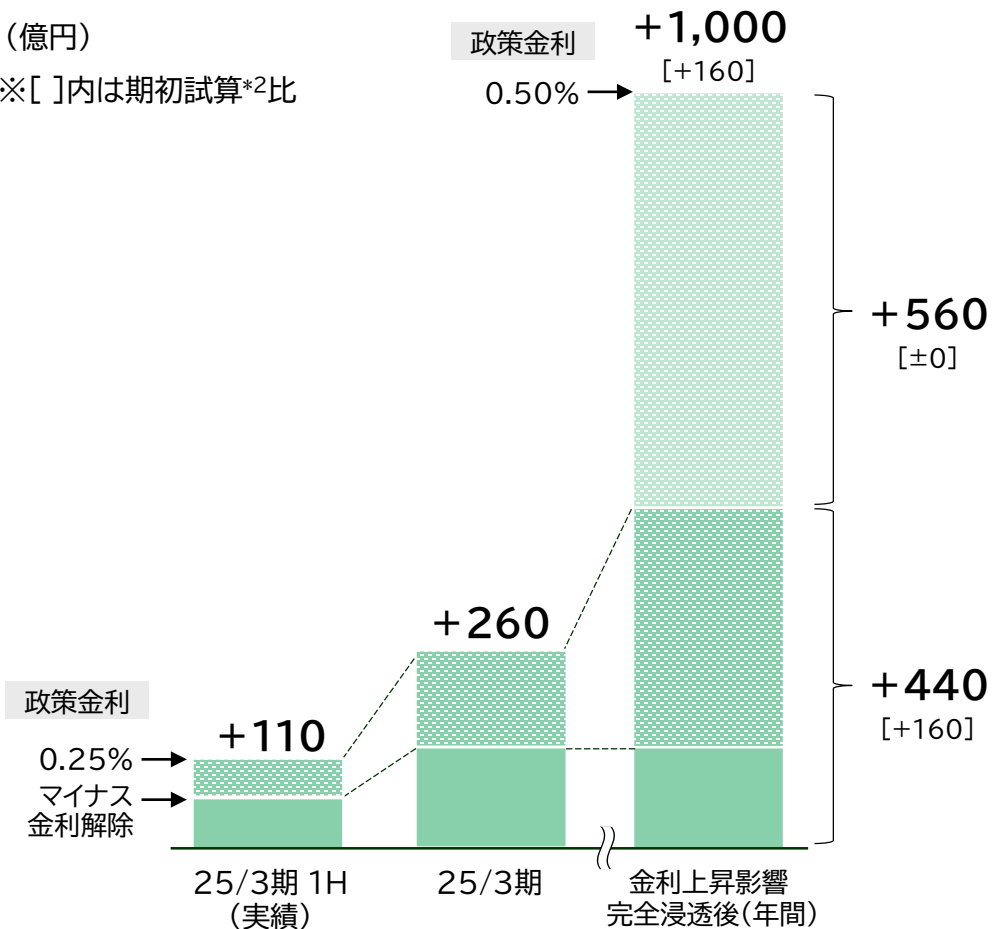
# (ご参考)円金利上昇時の収益影響(試算)

政策金利が0.50%まで上昇で、株主資本ROE 9~10%/ROE\*1 8%を展望

## 【業務粗利益増加額】

(億円)

※[ ]内は期初試算\*2比



### <試算前提>

- ✓ BS不変  
(マイナス金利解除~0.25%迄:24/3末時点、0.25→0.50%:24/9末時点)
- ✓ 1年以内に金利更改期限が到来する  
貸出金・投資債券・定期預金、および普通預金、日銀預け金、金利スワップへの影響額を反映
- ✓ ROE =  $\frac{\text{利益(25/3期目標*3)} + \text{本件影響額}}{\text{株主資本(東証基準:自己資本)}}$

### ※試算考慮外の主要要素

#### <アップサイド ↑>

- 貸出金・投資債券の残高増加(V要因)
- 金利更改期限まで1年超の貸出金への影響

#### <アップ/ダウンサイド ↑ ↓>

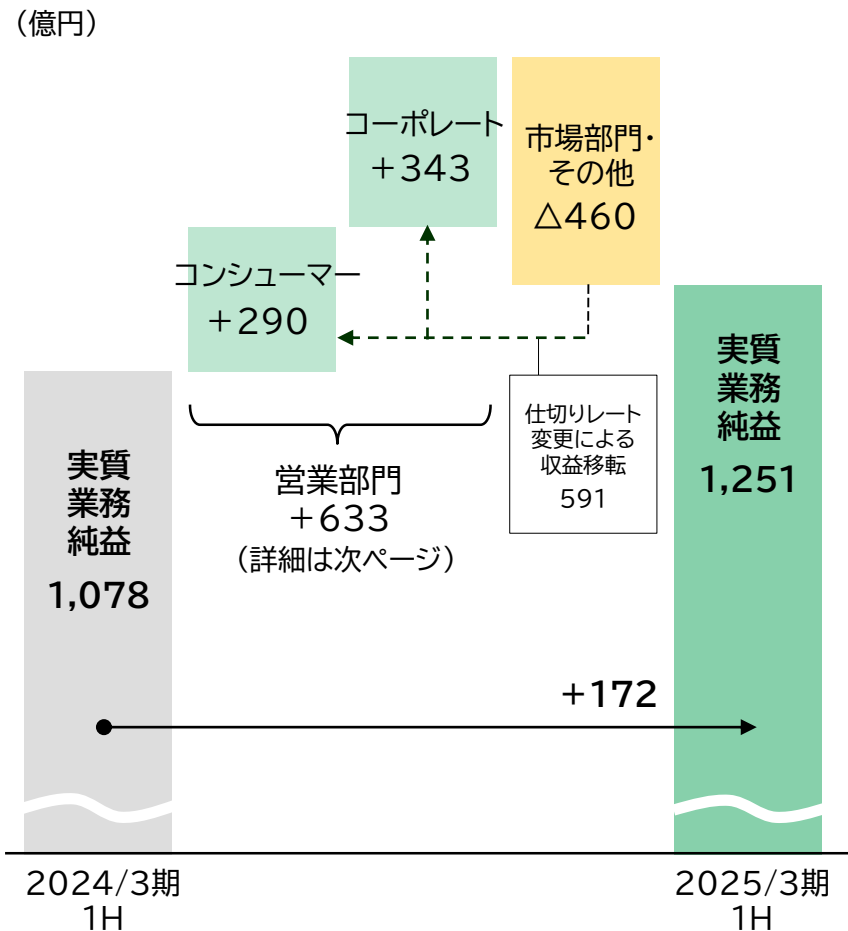
- 貸出金・預金の追随率の変動

#### <ダウンサイド ↓>

- インフレ等に伴う経費、与信費用の増加

# (ご参考)事業部門別の損益概要

(億円)		2025/3期 中間期	前同比
営業部門	業務粗利益 (1)	3,994	+790
	経費 (2)	△2,205	△159
	実質業務純益 (3)	1,792	+633
コンシューマー	業務粗利益 (4)	1,794	+379
	経費 (5)	△1,144	△89
	実質業務純益 (6)	650	+290
コーポレート	業務粗利益 (7)	2,200	+411
	経費 (8)	△1,061	△70
	実質業務純益 (9)	1,141	+343
市場部門・その他	業務粗利益 (10)	△539	△469
	経費 (11)	△1	+10
	実質業務純益 (12)	△540	△460
合計	業務粗利益 (13)	3,455	+320
	経費 (14)	△2,207	△149
	実質業務純益 (15)	1,251	+172



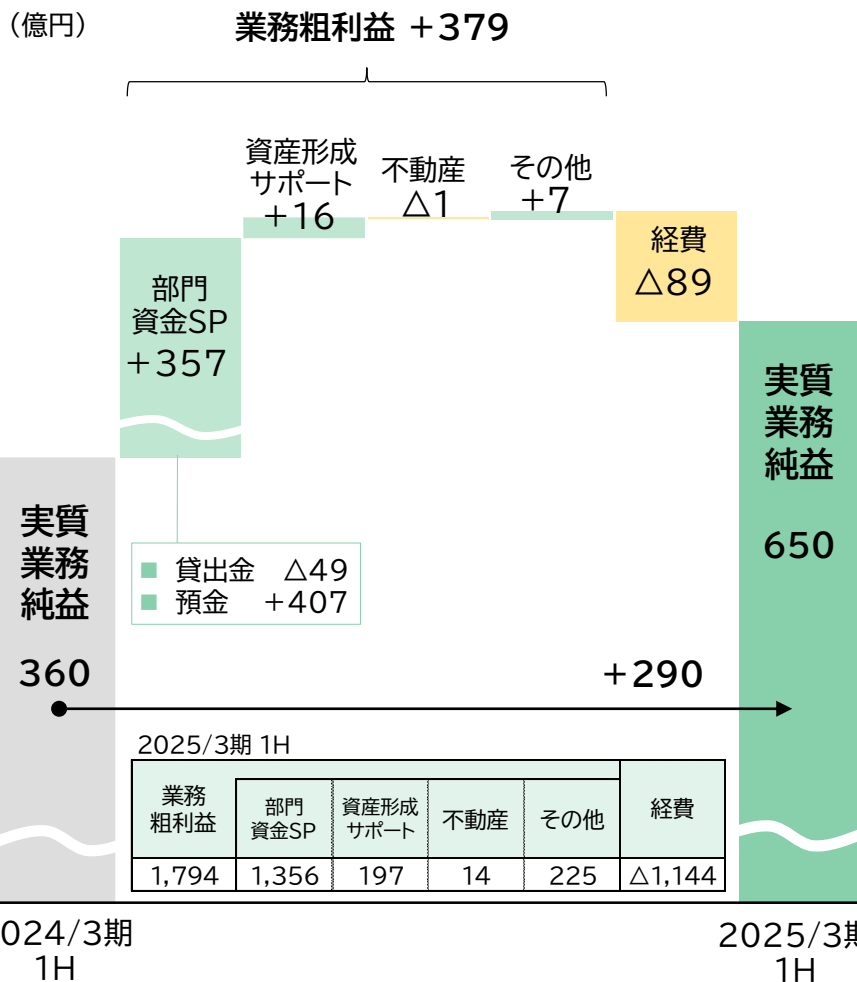
管理会計における  
計数の定義

「市場部門」の業務粗利益には株式等関係損益の一部を、「その他」には経営管理部門の計数等を含む

# (ご参考)営業部門の損益概要

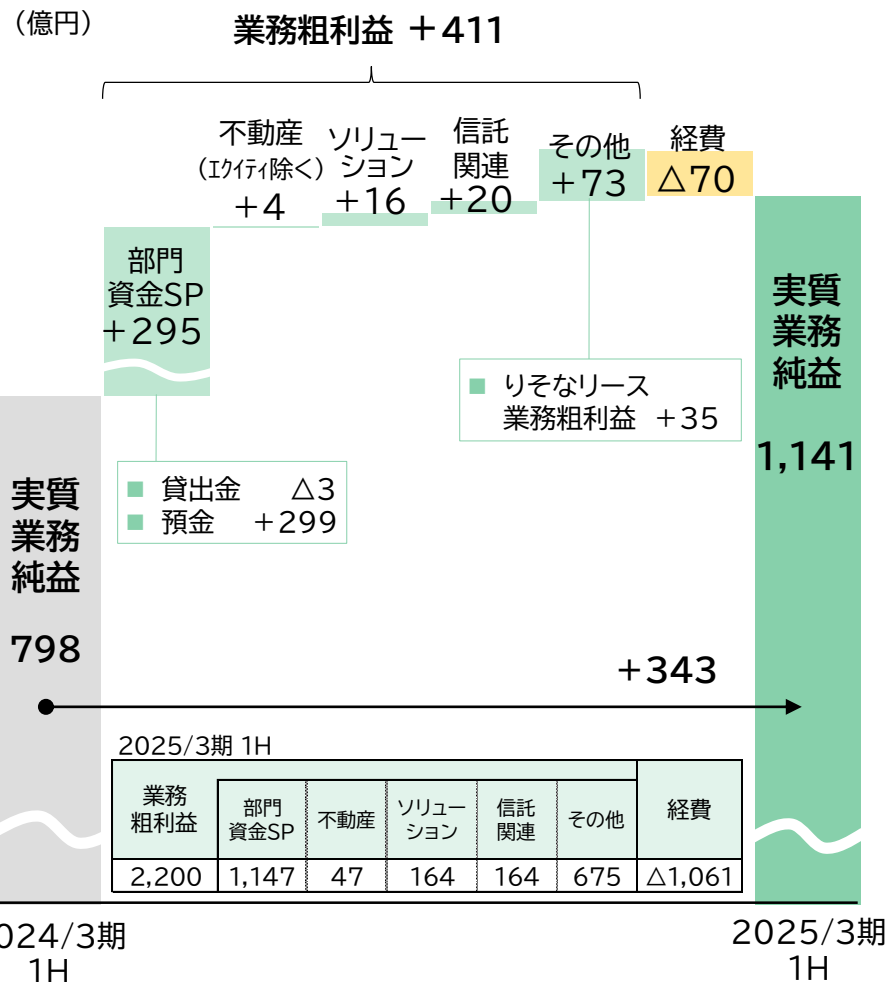
## コンシューマー部門

- 実質業務純益は前同比290億円の増益



## コーポレート部門

- 実質業務純益は前同比343億円の増益



- 本資料における表記の定義は下記の通りです。

[HD] リそなホールディングス※1

[RB] リそな銀行

[SR] 埼玉りそな銀行

[KMB] 関西みらい銀行※2

[MB] みなと銀行

※1 リそなホールディングスと [KMFG] 関西みらいフィナンシャルグループ が、2024年4月1日に合併

※2 [KU] 関西アーバン銀行と [KO] 近畿大阪銀行 が、2019年4月1日に合併

---

利益にマイナスの場合は「△」を付して表示

計数には社内管理計数を含む

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府や中央銀行の方針、法令、実務慣行および解釈に係る変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。